

## 役職定年後の働き方研修

役職定年前後の職員

### ■ 研修目的

役職定年を迎える（迎えた）職員が、これまで培ってきた経験・知識を改めて価値として捉え直し、役職に依存しない新たな役割意識と前向きな人生態度をもって、引き続き組織や社会に貢献していくことを目的とする。

### ■ 研修目標

- ① 役職定年を「次の役割への移行」として前向きに捉え直す。
- ② これまで受けてきた恩を次世代や組織へ「恩送り」（Generativity）する意義を再確認する。
- ③ 今後期待される役割や果たせる自分の価値を明確にする。
- ④ 役割遂行に必要なスキルを確認し、具体的な行動計画を作成する。

### ■ 研修内容（1日：6時間）

内容項目	
午前	<b>1 導入～オリエンテーション～</b> (1) 本研修の目的の確認、本日のゴール提示 (2) ミニワーク（個人）：「今の正直な気持ちを書き出す」 <b>2 マスター職員（役職定年を迎える職員）を取り巻く環境の変化</b> (1) 時代背景の変化 (2) 求められる能力の変化 (3) 個人ワーク・グループ共有：「キャリア棚卸し × 時代背景」 <b>3 役職定年期に直面する問題とマインド転換</b> (1) 場面想定：元部下が上司になり、指示を受ける側になったときに起きがちなこと (2) グループ討議：「立場が入れ替わった場面をどう捉えるか」 (3) 講師まとめ
	<b>4 役職定年後の望ましい働き方</b> (1) マスター職員に期待される役割の再確認 (2) 個人ワーク：「自分の強みの再定義」 (3) ペアワーク：「価値の翻訳ワーク」 <b>5 キャリアシフトに向けた計画策定</b> (1) 個人ワーク：「今後、組織から期待される役割」「そのために強化するスキル」「意識して変える行動」等 (2) グループワーク：「応援メッセージ交換」 <b>6 まとめ</b> (1) 今日の振り返り (2) 「行動宣言」 (3) 講師メッセージ